

ふたみきた

2023 年(令和 5 年)10 月 31 日
明石市立二見北小学校
学校だより 第 4 9 4 号

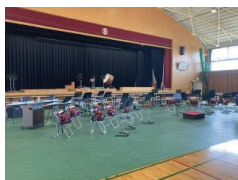
「心を開きたいな」と 思ってもらえるような態度



校長 入江 由美子

キンモクセイの甘く清々しい香りと高く澄んだ秋空を存分に堪能した 10 月。近頃は朝夕と昼間の気温差を実感します。今日の登校時に、「さっさな、息をハーってしたら白くなってん」と教えてくれた児童がいました。防寒着を着ている子が増えてきましたし、襟巻きなどをつけてくる子も見られます。いよいよ秋本番。体調に気をつけて元気に二学期後半を過ごしてほしいと思います。

先月中旬から音楽会の体育館練習が始まりました。今月の 8 日は児童鑑賞会、11 日は保護者鑑賞会となります。6 年生が楽器を搬入してくれた会場で、学年での練習のみならず、朝の学習前や業間休みも使って、みんな一生懸命練習を重ねてきました。保護者の皆様には、ぜひ北っ子の歌声や奏でる音を楽しんでいただき、音楽のすばらしさを子ども達とともに味わっていただきたいと思います。



さて、今号のタイトルは『「心を開きたいな」と思ってもらえるような態度』としました。ある小児科医療に関係する方の言葉です。私は、子ども達を救うのは、大人の態度だという意味と理解しました。とにかく関係性が無ければ心の内を吐露してくれるはずもないわけです。この人になら心を開きたいなと思ってもらえるような態度がとれる大人でありたいとするその方の信条に、共感を覚えました。その場におられた別の方は、その態度は文化だと表現されました。これは、個々の態度が集まって環境を作り出す、それが文化という意味ではないかと思いました。心を開きたいと子ども達が思ってくれるような態度をとれているか、そして、子ども達を取り巻く大人達がそういう態度をつなぎ合わせて、子ども達が安心して心を開ける居場所づくりが出来ているか、そんな視点で学校や地域について考えてみると良いのではないかと思います。

先日、ニホンザルの研究者の方が、淡路島のニホンザル集団に見られる社会的な寛容性についてお話されているのを聞きました。ニホンザルの特徴は、専制的な社会構造であり、緊張関係や優位個体から劣位個体への追い払いや攻撃行動が生じるのが通常ですが、淡路島のニホンザルは、奪い合いが少なかったり協力関係が見られたりして、他地域の集団と異なる特徴をもっているそうです。尚且つ、その特徴は、数十年経過して群れの個体が入れ替わってしまっても保たれている。なぜか。その答えは、私が理解したところで言うと、環境が要因ではないか、とのことでした。寛容性にかかわる遺伝子をもつ個体が淡路島に多い事実があるそうですが、他地域にもその遺伝子をもつ個体がいる。しかし、そこでは寛容性は見られない。つまり、寛容性を示す行動をとる個体が多い群で育てば、その行動をとるようになる、というわけです。先程の、個々の大人の態度が集まって環境という文化を作り出す、ということに結び付けて考えることができそうでとても興味深いと思いました。

「心を開きたいなと思ってもらえるような態度」かどうか…自分自身を省みる視点として大切にしたいと思います。

今月の予定

日	曜	行 事
1	水	朝会
2	木	シェイクアウト訓練 きらきらの会(1 年)
3	金	文化の日 ふたみみんなのまつり
7	火	代表委員会 きらきらの会(2 年) 定時退勤日
8	水	児童鑑賞会
9	木	きらきらの会 (3 年) 就学時健診 (1,2 年 12 時 50 分下校)
10	金	硬筆巡回展(15 日まで) 1~4 年 14 時 20 分下校
11	土	音楽会(12 時 30 分下校)
13	月	音楽会代休
14	火	きらきらの会(4 年) 定時退勤日
15	水	子ども安全の日 登校指導
16	木	4 年生福祉体験学習 きらきらの会(5 年)
17	金	SC 来校日 1 年生校外学習(姫路水族館)
20	月	4 年生介護予防救急 (2 校時体育館)
21	火	きらきらの会 (6 年) 定時退勤日
22	水	わかば 5,6 年小中交流会 3 年生野鳥観察(午前中)
23	木	勤労感謝の日
25	土	まち協交流フェスタ
27	月	教育相談日
28	火	F タイム (クラブ) 1~3 年 14 時 20 分下校 定時退勤日
29	水	朝会
30	木	2 年生まち探検 (午前中)
12 月の 主な 行事予定		5 日：F タイム (サークル) 12 日：代表委員会 15 日：子ども安全の日 スクールカウンセラー来校日 ベルマーク回収日 18 日：教育相談日 21 日：給食最終日 (13 時 40 分下校) 22 日：終業式 (11 時 40 分下校)

～5 年生 南但馬自然学校～

5 年生は 9 月末に、自然学校に行ってきました。「協力・挑戦・自立・発見・成長」という 5 つの目標を立て、様々なプログラムに取り組みました。野外炊飯では、仲間と協力して、おいしいカレー作りに挑戦しました。また、キャンプファイヤーでは、今まで練習してきたスタンツをクラスごとに披露し、思い出に残る最後の夜を過ごしました。子どもたちはこの 5 日間で多くの経験をし、成長することができました。このように、自然学校を無事終えることができたのも、たくさんの保護者の方々、在校生の皆さんの協力のおかげです。ありがとうございました。感謝の気持ちを忘れずに、自然学校で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。